



りんご生育情報

(令和元年度 第5号)

令和元年8月19日 巨理農業改良普及センター(果樹担当 横田)

電話:0223-34-1141, ファックス:0223-34-1143

<生育状況>

梅雨明け以降、果実の日焼け症状が目立っています。徒長枝を取り除く際はすべて除去せず、日陰を作るよう、適度に残してください。修正摘果を行う場合は、果実の日焼け症状の状況が分かってから行うようにしましょう。

果実肥大は、平年より大きく推移しています。

表1 りんご生育状況(8月10日果実肥大調査)

	縦径(mm)	横径(mm)
本年	65.9	74.3
平年	62.2	68.6
平年比	106.0%	108.3%

※ 調査地点:巨理町神宮寺 ふじ/マルバカイドウ 58年生

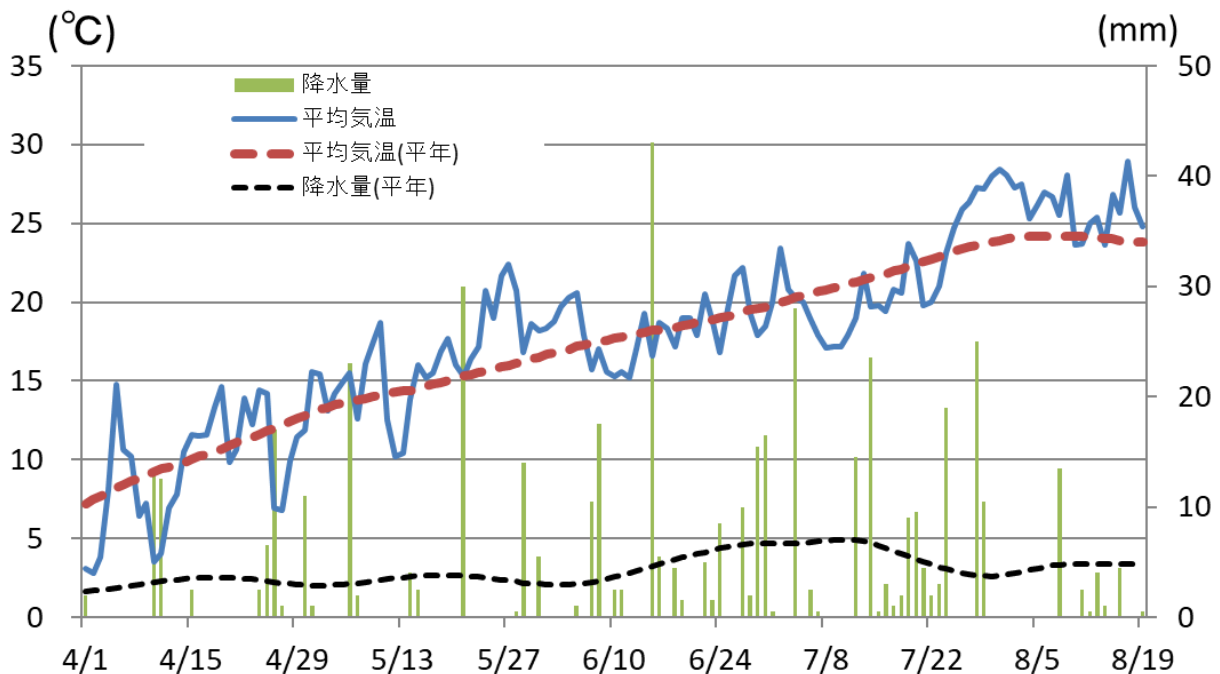


図1 気象データ(巨理アメダス, H31.4.1~R1.8.19)

<病害虫発生状況>

1. 管内のりんご園で発生が確認された病害虫は、次のとおりです。

病害：斑点落葉病，うどんこ病，黒星病

害虫：ナミハダニ，アブラムシ類

今年度，当管内では黒星病の発生が確認された園地が昨年度よりも増えています。リンゴ黒星病菌は比較的冷涼な温度を好むため，秋季にかけて気温が下がってくると，感染が広がる恐れがあります。被害葉・被害果は見つけ次第，摘み取り処理し，耕種的防除により園内の菌密度を下げるようにしてください。

リンゴ黒星病と疑われる症状が見られたら，亘理農業改良普及センターまでご連絡ください。

2. 病害虫防除所が発表した病害虫発生予察情報から抜粋

8月7日発行（8月下旬までの発生予報）

斑点落葉病：発生量は多

ハダニ類：発生量はやや少

キンモンホソガ：発生量はやや少

ギンモンハモグリガ：発生量は少

<これからの栽培管理>

1. 斑点落葉病

斑点落葉病は，気温が低下する秋季前半まで発生拡大が懸念されるので，今後も発生量に注意してください。

2. 果実腐敗病について

輪紋病：既に感染時期は終了しており，発病果実からの二次感染はほとんどありません。潜伏期間が長いため発病はこれからとなりますが，発病した果実に薬剤散布しても効果はありません。

炭そ病：発病果実から二次感染しますので，今後の薬剤防除でも被害低減はある程度期待できます。ただ，炭そ病菌は比較的高温を好むので，冷涼になる時期の薬剤散布は大きな期待できません。

3. 果実の着色管理（支柱立て・枝吊り）

果実の着色には，光，温度，糖度の条件が揃うことが必要です。

枝の欠損防止と併せて，再度，**支柱立てや枝吊り**を実施してください。これらの対策によって，台風等からの枝の欠損軽減のほか，**樹冠内の光環境が改善**され，**果実の着色促進**に繋がります。